



『青空ファイティングポーズ』 解散公演!!

作・演出
イナダ

壊れていく集団
必死に繋ぎ止めようとする人達——
壊したくないのに 壊れるしかない

集団のために
それは絶望ではなく希望
なのだから

笑いと涙とダンスが散りばめられた
華麗で微妙なエンターテインメント!

2024
3/17 日

【開場】14:30 【開演】15:00

大空町教育文化会館 「JR 女満別駅」より徒歩 10 分
「女満別空港」より車で約 5 分

網走郡大空町女満別西 3 条 4 丁目 1 番 11 号

入場料金
全席自由
(前売税込)

一般 1,000 円
中学生 500 円
ペア割 1,300 円 [一般 1 名 + 中学生 1 名]

小学生
無料

※ペア割券について、中学生は最大 4 名まで対象。 (例:『一般 1 名 + 中学生 4 名』が最大)
なお、ペア割については中学生 1 名につき 300 円。 [最大 2,200 円 (一般 1 名 1,000 円 + 中学生 4 名 1,200 円)]
※当日は各 500 円増。
※未就学児のご入場はご遠慮頂いております。
※車椅子席をご希望の方はご購入の際にお申し出ください。
※前売券完売の際は当日券はございません。
※ご購入・ご予約後のキャンセル、払い戻しはお受けできませんので予めご了承下さい。



各販売所にてチケット好評発売中!

チケット
販売所

- 【町内】●大空町教育文化会館 ●女満別図書館
- 東藻琴図書館 ●道新岩原販売所
- 【町外】●美幌町民会館
- エコーセンター 2000
- 北見芸術文化ホール

☆インターネットでのチケットのご予約はこちら

チケットのお渡しは事前・当日に当館窓口
までお越しいただき、料金ご精算後
にお渡しいたします。



<予約・お問い合わせ>

一般財団法人大空町青少年育成協会 (大空町教育文化会館内)

☎(FAX) 0152-74-2367 開館時間 9:00~17:30
休館日 月曜、祝日 (月曜が祝日の場合火曜振替)

[主催] 一般財団法人大空町青少年育成協会 [共催] 大空町/大空町教育委員会

『青空ファイティングポーズ』解散公演!!

あらすじ

小説家の曾根は、編集者の下柳から連載の打ち切りを告げられる。時間を持って余した彼は、何となしに一つの物語を書き始める――。

創立二五年の市民劇団『青空ファイティングポーズ』の公演二ヶ月前、本番に向け稽古は順調に進んでいた。そんなある日、主役の子よからぬ噂が立ち、姿を消してしまう。

その事が発端となり、演出家と役者の関係が微妙になつていく。さらに役者同士の関係もギクシャクし始める。終いには演出家も公演を降りると言い出してしまふ。公演続行か中止か。

それぞれの想いが交錯し始める。壊れていく集団を必死に繋ぎ止めようと奮闘する人達の物語。

彼はなぜこのような物語を描き始めたのか？
彼の本当の真意は何なのか？

第十一回オホーツク演劇祭
おぞら町民劇開催!

平成二九年三月に『ラヴィアンローズ』(パパと呼ぶないで〜)を上演してから、約七年ぶりとなるイナダ氏演出・脚本の地域住民による舞台創作劇!

出演者は普段から演劇を実践している方のみならず、以前実施経験のある方で久しぶりに参加してみようと思われた方、この度初めて挑戦してみようと思われている方もいらっしやいます!総勢二〇名を超えるスタッフが全員一丸となって精力的に現在進行形で稽古に励んでおります。笑いあり、涙あり、歌あり!?!の作品です。

ぜひとも、ご来場くださいませ。

PROFILE

演劇ワークショップ講師



劇団イナダ組代表 イナダ氏
(俳優・脚本家・演出家)

1988年に主宰であるイナダが、札幌にてプロデュース公演のかたちで演劇活動を開始。1992年からは定期的な公演を行うため、数名の役者とスタッフで『劇団イナダ組』として旗揚げ。初期・中期は、恋愛・結婚や自立などをテーマに多く取り入れ、学生やOLなど女性層からの支持を多く集めた。さらに「TEAM NACS」の森崎博之、大泉洋、戸次重幸、辛尾琢真が在籍していたことも話題となり、2000年の公演では過去最高の動員数約1万人を達成する。彼らの脱退後は、活動の範囲を北海道内各地に広げ、地方公演を精力的に行う。

また、2006年には北海道外初となる福岡公演、2008年には東京新宿シアターアップルで行われた東京劇団フェスに参加しグランプリを獲得。そのほかにも大阪、仙台、名古屋などで全国ツアーを行い、全国的な人気を誇る劇団に成長。

2011年には劇団20周年を記念して、東京紀伊國屋サザンシアターで公演を行い、地方の劇団としては異例の2000人の動員を記録する。

2013年からはこれまでの劇団のあり方から、所属する役者を抱えずに自由なキャスティングで作・演出を行うスタイルに一新。HTB「水曜どうでしょう」のディレクター藤村忠寿、嬉野雅道やダンスポータルユニット「EverZOne」を役者として起用。

多方面から話題を集める。そのほか各種学校や自治体での演劇指導、公共機関とコラボした演劇公演など幅広い活動を通じて北海道の演劇シーンを牽引する。

配役・キャスト

●小説家

先生(曾根) 廣部 公敏

●編集者

下柳 畠山 実希
藤井 樺澤 麟太郎
編集長 竹内 大輔

●劇団「青空ファイティングポーズ」劇団員

利根川さおり 川村 真美子
中谷和美 阿原 直美
市川誠 佐藤 保
土田真二 柴田 慎之介
三谷ゲン 先崎 康平
矢野静香 梅津 真里奈
篠塚信乃 長田 明日香
吉村瑛二 松橋 紘爾
森本弘 伊藤 公浩
後藤田ヨシ夫 後藤 満晴
山崎マリ 小柴 かずき
新田純子 横山 心音
坂本理沙 大沼 伊都

●劇団「青空ファイティングポーズ」制作

本宮 竹内 彩
辻 鈴木 智也

●市役所職員

山田 佐藤 菜美
川田 林 千絵

●近所の人

お婆さん 米嶋 俊博
お婆さんの孫 米嶋 あかり

●前説

山田 龍

ACCESS

■会館前駐車場は15台とスペースに限りがございます。ご来場の際は下記駐車場をご利用下さい。

⇨ゲートボールセンター体育館前駐車場(図①・②)

⇨郵便局前駐車場(図③)



☆今後の公演情報については、当館のホームページ・SNSをご覧ください!

HP



X



Facebook



LINE



YouTube

